有限会社 佐藤金属工業(千葉県事業承継・引継ぎ支援センター)

地元商工会議所がマッチング支援

事業引継ぎ概要

引継ぎ対象 ：金属製品製造業（鉛のおもり製造）
譲　渡　者：有限会社佐藤金属工業
譲　受　者：有限会社市東製作所（電子デバイス・電子精密部品製造）
譲 渡 方 法：株式譲渡
引継ぎ期間 ：令和3年7月～令和3年11月（株式譲渡契約書調印）
支 援 方 法：三次対応(東金商工会議所が譲渡、譲受とも当センターへ紹介)



事業引継ぎまでの経緯

・㈲佐藤金属工業（設立後57年）の経営者は75歳で重い病気を患い経営が困難となり、 東金商工会議所経営指導 員が同席して、事業存続のため当センターへの相談に至った。
・当センターとの相談の結果、第三者承継しか選択肢がない結論に達した。
・東金商工会議所経営指導員は、同会議所内に近隣で工場を探している企業＝㈲市東 制作所があることを把握していた。
そこで㈲市東製作所に対して当センターへの譲受相談を 助言。譲渡側、譲受側とも当センターの登録者となりマッチングの 段取りとなった。
・短い交渉期間となったが、譲渡側は相談者の子息が代理を務め、譲受側も若い後継者 が交渉に当たった。
当事者にＭ＆Ａの経験が無い中、譲受側の顧門税理士法人はＭ＆Aの経験が豊富でデューデリジェンス、契約書作成 支援、金融支援と幅広くフォローしてくれ円滑に交渉が進み、株式譲渡契約の締結に至った。
・Ｍ＆Ａ成立のポイントは
❶東金商工会議所が会員企業の事業承継ニーズを細かく把握し ていた事、Ｍ＆Aの秘密保持の原則を理解していた事
❷交渉に際して若い人達が率直な 意見交換をした事
❸譲受側の顧問税理士が若くＭ＆Ａに精通していた事、が挙げられる。
・譲渡側は鉛のおもり製造が存続し、雇用の維持が守られ。譲受側は若い後継者が目指す 24時間稼働のCNC自動旋盤の
設置等が可能となった。共に有意義なM&Aが成立した。





事業引継ぎ支援センターでの対応内容

・譲渡希望、譲受希望としてＤＢ登録＝Ｍ＆Aの流れ、基本ルールの説明。マッチング支援